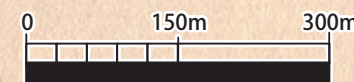
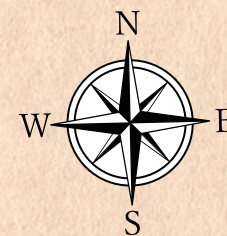




人面付土器
郡本遺跡群
(三嶋台地区)出土

いちはらフィールドマップ 能満・郡本

総距離 約5.7km (移動時間のみで約170分)



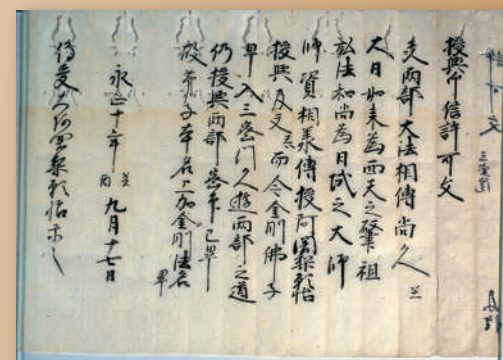
【凡例】

- 標柱のある歴史遺産
- 主な歴史遺産等
- 公共施設等
- 推奨ルート
- 消滅した古墳

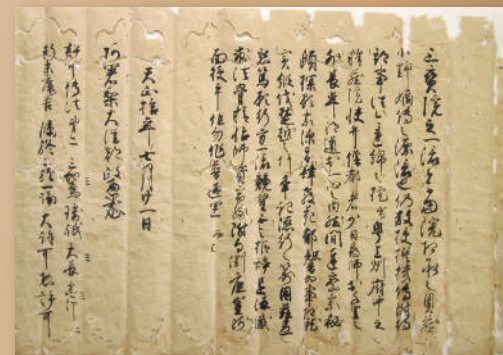


市原歴史博物館エントランスホール

釈蔵院文書



市内最古の永正10年(1513)の古文書



「府中之釈蔵院」と記された天正10年(1582)の古文書





NK-04 多聞寺

真言宗豊山派の寺院で、江戸時代は能満釈蔵院の末寺でした。天明の大飢饉からの救済と、弘法大師950年遠忌を記念して開かれた市原郡八十八ヶ所霊場の6番札所となっており、天明3年(1783)の銘と寺名を刻んだ石碑が建ちます。境内地には、僧侶等の供養塔で、室町時代の造立とみられる五輪塔が建ち並びます。本堂は、令和元年の台風被害により、建て替えとなりました。



NK-05 正光院

真言宗豊山派の寺院で、市原郡八十八ヶ所霊場の5番札所の寺名と天明5年(1785)銘を刻む石碑が出迎えます。江戸時代には寺子屋師匠を輩出し、弟子たちが建てた宝暦4年(1754)銘の筆子塚があります。明治22年(1889)の市制・町村制施行により誕生した市原村の役場が、この地に開設されました。敷地には天和元年(1681)銘の石造菩薩立像や、郡本地区の開拓記念碑等があります。



NK-06 郡本八幡神社

白鳳年間の草創、天平宝字2年(758)勧請と伝わります。境内地に残る大型の礎石の存在から、古代の役所跡の存在が推定され、郡本の地名から、周辺は市原郡衙推定地になっています。元和7年(1621)に領主井上筑後守が社殿を改築し、郡本・藤井・門前・西野谷村の鎮守とされていました。拝殿脇にある大宮大権現の石祠は、旧市原小学校付近にあった大宮神社から移設されたものです。



NK-07 唐崎台遺跡

市原台地の中心近くにある谷を見おろす台地上に立地します。市原小学校の建設に先立って発掘調査が行われ、弥生時代後期の竪穴住居跡が68棟見つかりました。居住位置を少しずつ変えながら弥生時代終末期まで継続して営まれたムラだったと考えられています。市原市内では、弥生時代後期のムラが多く発見されることから、この時期に生活範囲の拡大が起きたのかもしれない。



見学される皆様へ

- ★歴史遺産は、郷土の歴史文化を伝えてくれるかけがえのない財産です。個人所有物であったり、私有地に置かれている場合もありますので、マナーを守って見学しましょう。
- ★駐車場は基本的にありませんので、公共交通機関を利用しましょう。路上駐車や無断駐車は厳禁です。
- ★社寺の境内や墓地は、信仰の対象です。行事が行われていたりする場合もあるので、迷惑にならないよう行動しましょう。
- ★ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ★他人の家や社寺など建物の中に、無断で入らないようにしましょう。
- ★見学の際は、所有者の許可を得るのが基本です。特に団体で見学されるような場合は、事前に了承をとるようにしてください。
- ★保存や管理の都合上、公開日が決まっていたり、見学ができない場合があります。事前に確認して、公開日に見学しましょう。

いちほらフィールドマップ

制作・発行：市原市教育委員会

市原歴史博物館 〒290-0011 千葉県市原市能満 1489 番地 Tel.0436-41-9344 Fax.0436-42-0133

令和5年10月 第1版第1刷発行
令和6年 3月 第2版第1刷発行

I'Museum Field

能満・郡本



郡本や古甲の地名から、古代市原郡衙や上総国府の推定地とされてきた能満・郡本エリア。中世には府中と称され、守護所の存在が想定されます。今なお中世都市の雰囲気漂うこの地は、いちほらの歴史舞台の中心でした。

I'Museum



NK-01 天神社

菅原道真を祭神とし、天神様として親しまれています。文政4年(1821)の棟札からは、かつて「天満天神社」と称し、旧能満村の名主・組頭を願主に現社殿が再建されたことが分かります。境内地を含む周辺は、堀や土塁により馬場ノ内館と呼ばれる東西150m、南北220mの方形の区画が確認され、中世に置かれた守護所跡または国衙遺構の可能性が指摘されています。



NK-02 府中日吉神社

白鳳2年(673)の創建、現滋賀県大津市の日吉大社より勧請したと伝わります。中世能満城との関係も想定され、江戸時代の棟札からは当時日吉山王権現とも称していたことが分かります。三間社流造りの本殿は、簡素な建築形式や部材に残る工具痕等から、15世紀中頃の建立と推定され、千葉県指定文化財になっています。参道には魔除けの狛犬が置かれ、神前を守ります。



NK-03 釈蔵院

大同年間(9世紀初頭)空海による開創と伝わり、醍醐寺三宝院直末の有力な真言宗寺院の名刹です。昭和36年の火災で寺宝ともども焼失したと考えられてきましたが、永正10年(1513)を最古とする一連の聖教関係文書が発見され、天正10年(1582)には上総国の府中釈蔵院と称していたことがわかりました。釈蔵院の僧らの尽力で天明期に開創された市原郡八十八ヶ所霊場の1番札所です。